

○「平成26年度学生生活実態調査」における、学生の声に対する大学の対応・検討状況（平成28年8月24日現在）

1. 多数意見

No	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	対応部署
1	課外活動関係	部活の全国大会や、ボランティア活動等で授業を欠席せざるを得ない場合、欠席届を受理してほしい	現在、全学で課外活動（部活等）を理由とした「欠席届」の制度はなく、正式な様式也没有ありません。正課（授業）を選ぶか、課外活動（部活等）を選ぶかは、ご自身で判断いただくこととなります。	教育推進G
2	学内外の交通	東広島キャンパスまでのバスへの要望 ・料金を安くしてほしい ・遅延を改善してほしい ・増便してほしい	西条駅から広島大学間の料金値下げ等について、東広島市へ要望しています。 霞と東広島間（約40km）の授業のための移動手段として、シャトルバスを配車（片道 霞⇒東広島）してリーズナブルな金額で移動できるようにしました。	総務G 霞学生支援G
3	施設関係	トイレへの要望 ・和式トイレから洋式トイレに改修してほしい ・汚れ、臭いが気になるため改善してほしい	東広島キャンパスの工学部実験研究棟A4や霞キャンパスの中央研究棟及び臨床研究棟で実施した大規模改修工事に併せて、トイレの全面的な改善整備を行いました。その他、トイレの部分的な改善整備を計画的に実施しており、平成28年度においても教育学部などで数件の工事を予定しています。なお、部局等から寄せられる建物の改善要求については、トイレの改善整備を含め、緊急性や重要性を勘案し、優先度の高いものから順に改善整備を行っています。 また、霞体育館内のトイレを業者により専門的に清掃し、クリーンな状況にしました。	施設企画G 各研究科等支援室
4	駐車場・駐輪関係	駐輪場に関する要望 ・駐輪場が狭いので、拡張してほしい（学生プラザ前、中央図書館前、各学部付近等） ・屋根付き駐輪場を設置してほしい ・放置自転車を撤去してほしい 駐車場に関する要望 ・拡張、整備	平成27年度は教育学部周辺の駐輪場整備など全部で3件の整備を行いました。その他、キャンパスの整備指針を定めたキャンパスマスタープラン（CMP）を現在作成中ですが、駐輪場や駐車場及び動線を含めた交通環境はCMPの課題の一つであり、問題の抽出や今後の整備方針を検討する際には学生等の意見を踏まえた上で取り組んでいます。今後は策定したCMPに基づいて、優先度の高い箇所から順に整備を進めていく予定です。 駐輪場の放置自転車については、年に1度、全キャンパスの駐輪場等を調査・特定の上、撤去しています。毎年1,000台近くの放置自転車・放置原付等を撤去し、学内駐輪場スペースの確保に努めていますが、放置自転車の特定や、盗難車両の調査に時間がかかるため、年に1度しか実施できていない状況です。そのため、そもそも放置自転車を増やさないために、不要になった自転車を大学が無料で回収する取組を、平成26年度から行っています。使用した自転車は放置するのではなく、こういった取組を利用して各自で責任持って処分していただければと思います。 平成28年度から1年生が基本的に霞キャンパス周辺に居住することとなったため、霞キャンパス駐車場の一部を1年生専用駐輪場として使用できるように転用しました。 霞キャンパスの駐輪場が暗いため、街灯を増やして明るくしました。	施設企画G 学生生活支援G（学活） 霞学生支援G
5	図書館	図書館への要望 ・開館時間や開館日を拡大・延長してほしい（24時間開放など） ・中央図書館の冷房故障を直してほしい	開館日時の拡大については、今年度は、中央図書館で授業期の祝日試行開館を実施しています。24時間開館については、夜間の防犯対策の面から利用エリアを限定するための改修、入退館者の情報を細かく管理できる設備が必要になります。また、警備員の人件費や光熱水費といった経費も考えると、霞図書館以外の図書館では、当面、24時間開館を実施することは難しい状況です。 また、今年度より、霞図書館の1階閲覧室を24時間開館エリアとして開放しています。 中央図書館の冷房については、平成27年10月末、全ての更新工事が完了し、快適な環境で利用していただけるようになりました。閲覧個室、グループ閲覧室には新たに個別空調を取り入れましたので、個々の体調に合わせて使用していただくことが可能になりました。	図書学術情報企画G
6	食堂・生協	食堂・生協への要望 ・値段を安くしてほしい ・屋休みの混雑を改善してほしい ・食堂やコープショップの営業時間を延長してほしい	ミールカードの利用コースによっては、朝食を実質200円値引きするなどの取組を行っています。 ミールカード、マイブル（電子マネー）の利用促進により、レジでの決済スピードを上げることでレジ付近での混雑解消に取り組んでいます。なお、西2、北2食堂では、スピードシートを設置し、食事が終わったら速やかに席を譲っていただけるよう案内しています。また、生協では弁当の製造個数を増やし、総合科学部講義棟前で移動販売を行うなど利用の分散化を図っています。 霞会館食堂では、閉店時間を18時30分から20時までに延長しました。また、夏休み期間中の閉店時間を14時から19時までに延長しました。	学生生活支援G（学活）

No	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	対応部署
7	就職	就職活動に対するサポートの充実 ・霞・東千田キャンパスにおけるサポートを充実してほしい ・早期（1年次）から就職について考える機会（授業等）が欲しい ・外国人対象の支援を充実してほしい	「もみじ」やHPにも掲載しておりますが、霞・東千田キャンパスの学生には、スカイプでの相談も受け付けております。霞キャンパスに関しては、学生支援Gと連携して、就職ガイダンス・模擬面接・グループディスカッション練習を開催しております。東千田キャンパスでは2年ほど前まで就職ガイダンスを実施しておりましたが、参加者0名が続いたため、現在実施しておりません。引き続き、学生の要望に応じて対応してまいりますので、お気軽に相談ください。 現在、センターでは、「職業選択と自己実現-自分のキャリアをデザインしよう-」「キャリアデザイン概論」「地域社会探検プロジェクト-インターンシップ・ボランティアを体験してみよう-（集中講義）」を教養教育科目として開講しており、今年度から「キャリア教養講座-世界に通用する高い社会人を身につける-」も開講する予定です。 現在、新入留学生のオリエンテーションガイダンスに春と秋参加し、日本の就職事情を日本語と英語でお伝えしています。留学生の就職ガイダンスも年2回開催しており、参加者は20-30名程度です。広島県留生活躍支援センターと連携し、ビジネス日本語講座、合同企業説明会、個別相談なども実施しております。今年度は昨年に続き11月に留学生向け合同企業説明会を学内で開催する予定です。 霞キャンパスでは、学生支援グループの室内に求人票コーナーを増設し、併せて教員が対応する就職相談をグローバルキャリアデザインセンターの協力のもとで霞キャンパスでも相談いただけるようにしました。 総合科学部では、キャリア関連企業（リクルート、マイナビ等）と連携して学部内で就職セミナーを実施しています。（年10回程度）	キャリア支援G グローバルキャリアデザインセンター 各研究科等支援室
8	経済支援関係	奨学金・授業料免除の制度の充実 ・学部生の成績優秀者への奨学制度を創設してほしい ・手続きを簡略化してほしい	学部生成績優秀者への奨学制度は現在検討中です。授業料免除の手続きについては、前期申請者が引き続き後期に申請する場合の提出書類の簡略化を今年度から実施しました。また、平成29年度前期から申請受付をもみじから予約できるようにする予定です。	学生生活支援G（経済）
9	マナー・モラル等	自転車の運転マナーが悪い （ながら運転・傘差運転等） 駐輪マナーが悪い （学生プラザ前・中央図書館・北1食堂前等）	今年度から、駐輪マナーの対策として、学生プラザ前の駐輪場で、駐輪禁止場所に駐輪している違反自転車は、強制撤去またはタイヤロックし、個別に指導しています。他のエリアについても、そのエリアの事情に沿った対応を検討していく予定です。 また駐輪マナー・モラルについては、年に2回、規範意識に関する学生との意見交換会を開き、学生のマナー・モラルの向上のための対策について学生さんと共に検討しています。 霞キャンパスの新1年生全員に対して、広島南警察署の協力のもと、交通安全講習会をガイダンス時に開催・指導し、併せて新1年生で自転車に乗る学生には反射テープを配布し、後輪カバーに貼るように指導しました。	学生生活支援G（学活） 霞学生支援G
10	学生支援	学生支援室の対応について （窓口対応が冷たく感じる、質問したことに対して正確な情報が返ってこないことがある、職員も英語で対応できるようにしてほしい、など）	【総合科学研究科支援室】教職員研修会等への参加により、意識改革を図っています。 【文学研究科支援室】毎週1回学生支援室内で打合せを行い、情報共有を図っています。窓口対応の言葉遣いについては、学生指導の立場を念頭に丁寧に行うよう心掛けています。 【教育学研究科支援室】全学で定められている「学生支援スタッフの心得」に基づき、主に学生の成長を促すような対応を心掛けています。また、教育実習や介護等体験については、履修要領等のルールに基づき対応を行っています。 【社会科学研究科支援室】匿名で意見を投書できる「意見箱」を設けているので、具体的な事案、要望を投書ください。 【理学研究科支援室】毎朝、学生支援室の主査及び特任助教によるミーティング、並びに各主担当毎のミーティングを行い、業務に関する情報共有等を図ることで業務改善に繋がっています。 【先端物質科学研究科支援室】窓口での声かけ等、利用しやすい環境づくりに努めています。 【生物圏科学研究科支援室】「学芸員資格に係る誤った情報が学生便覧に掲載されていた」という意見について、クォーター制導入の際、学芸員および教員免許取得のための授業を希望する学生が確実に受講できるよう、時間割を組み直しました。その他取得可能な資格についても学生便覧を確認済みです。 【工学研究科支援室】職員の語学力向上に向けて、全学の研修制度を利用して取り組んでいます。 【霞地区学生支援グループ】身近な存在である学生支援となるべく、学生との接点をできるだけつくるために、職員に対して学生クラブから①救急救命法、②茶道などの指導をしてもらっています。	各研究科等支援室
11	教育（カリキュラム・講義・研究・入試等）	クォーター制について （導入のメリット、単位取得の方法などの説明の場をもっと設けてほしい等）	平成26年12月に学生向け説明会を計6回開催しました。また、クォーター制に関する情報を「もみじTOP」に掲載しており、今後も随時更新予定です。 https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/quarter-system.html	教育推進G

No	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	対応部署
12	教育（カリキュラム・講義・研究・入試等）	講義への要望 （参画型学習の導入、英語教育の改善等）	<p>全ての教養教育科目においてアクティブ・ラーニングを導入するため、体制を整備しています。</p> <p>【総合科学研究科支援室】総合科学部では、平成25年度からこれまでの10プログラム制から1プログラム制へ移行しています。このことにより、学生の興味にあわせてより多角的な視点から講義を選択できるようになったと考えています。</p> <p>【文学研究科支援室】平成25年度に「教職に関する専門科目」を卒業要件に算入するか検討し、平成26年度入学生から卒業要件に算入することとしました。</p> <p>【教育学研究科支援室】グローバル社会に対応できる資質・能力を備えた人材育成のため、平成28年度から教育学部に「グローバル教員養成特定プログラム」を、教育学研究科に「グローバル教員養成プログラム科目」をそれぞれ開設し、先進的な教員養成に取り組んでいます。</p> <p>【社会科学研究科支援室】クォーター制導入を契機にアクティブ・ラーニング推進のための説明会が行われ、先生方も参画型学習の導入に向けて努められています。しかしながら一方で、特にゼミは、受講者の能動的に取り組む姿勢が学習成果を生む授業なので、この点には留意ください。</p> <p>【先端物質科学研究科支援室】授業評価アンケート等を基に、各授業担当教員において改善を行っています。</p>	教育推進G 各研究科等支援室

2. 優秀者に選出された意見（上記と重複のものは省略）

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	対応部署
13	学部オリエンテーションキャンプ	オリキャンに参加したくない人が「参加しない」という選択をしやすいようにしてほしい オリキャン・班活で飲酒などのルール違反があった場合は厳しく取り締まってほしい（即中止、次年度以降も開催なし等）	<p>【総合科学研究科支援室】総合科学部ではオリエンテーションキャンプの見直しを実施し、平成26年度から学内（サタケメモリアルホール）での集会形式に変更しています（日帰り）。また、教養ゼミの一環として位置付けているため、原則全員出席ですが、それまでのキャンプと比較して学生および教職員の負担は軽減されています。</p> <p>【文学研究科支援室】平成27年度オリキャン参加者全員（1年生127名、2年生47名）に対し、意識調査アンケートを実施（回答は1年生55名、2年生38名）し、嫌な思いをした者がいたか、自己負担費用の妥当性など、オリキャンの現状を把握しました。アンケート結果を踏まえ、課題やその対策を検討し、オリキャン執行部で共有するとともに、次年度に引き継ぐこととしました。</p> <p>【教育学研究科支援室】教育学部新入生歓迎行事（E-Camp）は、学生団体が独自に企画し実施するもので、学部公式行事でもないため、希望者のみ申し込みをして参加しています。また、新入生に対しては、オリエンテーション行事の内容を示し、学生独自の行事については任意参加である旨を通知しています。 飲酒については、教育学部新入生歓迎行事（E-Camp）の実施前又は実施後に学生生活指導担当教員から実行委員へ注意喚起や反省会を行い指導しています。</p> <p>【社会科学研究科支援室】参加を強要しないよう、学生スタッフに対して指導しますが、申し出にくい場合は、学生支援室に相談してください。 オリキャン・班活で飲酒強要等の行為が起きないように指導を行っていますが、そういった行為が確認された場合には、学部長等の指示の下、厳正に対処します。</p> <p>【理学研究科支援室】新入生ガイダンス終了後、オリキャン担当の学生による説明が行われる際に、必ず参加しなくてはならないものではない旨、学生支援室職員からアナウンスしています。オリキャン代表学生に対して、飲酒・喫煙等について、事前に学生支援室職員から注意喚起しています。</p> <p>【生物圏科学研究科支援室】入学生ガイダンスでのオリキャン説明において、あくまでも任意参加であることを強調しています。また、事前にフェローにオリキャンの班活動の制限を提示し、スタッフへの周知も徹底しています。</p> <p>【工学研究科支援室】工学部では平成24年度のオリエンテーションキャンプ実施を最後に、平成25年度からはキャンプ実施を取りやめ、代替行事として新入生オリエンテーション行事（半日・学内実施）を行っています。これにより班活は廃止されています。また、飲酒等については、モラル教育として半期に1度注意喚起しており、飲酒に関する事件発生時には厳格に対応し、併せて他の学生へ注意喚起や教員からの指導徹底を行っています。</p> <p>【霞地区学生支援グループ】毎年オリキャンスタッフと意見交換し、参加の強要を行わないことを確認しています。 飲酒に関しては、一昨年からのオリキャン全体での飲酒については全面的に廃止しています。個別に行う際にも未成年者飲酒も含め、十分配慮した飲み方をするように1年生のガイダンス時に霞学生全員に対して指導しました。</p>	各研究科等支援室
14	図書館	貸出冊数（8冊）を増やしてほしい	昨年4月より、学部生の貸出期間を2週間から3週間に延長したこともあり、貸出可能冊数を増やすことについては、検討課題とさせていただきます。	図書学術情報企画G

3. その他対応・検討案件

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	対応部署
15	マナー・モラル等	傘の盗難が多発している	注意喚起のポスターを作成し、サークル棟、大学会館、生協の傘置場前へ、掲示しました。	学生生活支援G（学活）
16	課外活動施設	東体育館で雨漏りが発生している	平成28年度に東体育館と西体育館の屋根改修を行う予定です。	施設企画G
17	自習スペース・フリースペース	自習スペース・フリースペースがほしい	平成27年度に、東広島キャンパスの工学部実験研究棟C1（おもしろラボ）や霞キャンパスの臨床管理棟及び東千田キャンパスの東千田未来創生センター（ビブラリフレッシュコーナー）で学生スペースの整備を行いました。今後も学生スペースの実態調査を行い、必要性や重要性等を勘案した上で、学生スペースの拡張整備を計画していきます。	施設企画G

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	対応部署
18	学内外との交流	留学生と交流の機会を増やしてほしい	学生プラザで行っている「インターナショナルランチオン」を霞キャンパスでも実施し、季節感（節分、七夕など）をもって日本人学生と留学生が自然と交流する場を催しています。	霞国際室
19	治安	キャンパス内でのピラ等の配布の規制	霞キャンパス構内でのピラや勧誘等は一切禁止である旨をキャンパス内に掲示し、学生支援等で確認できていない掲示物は全て撤去することとしています。	霞学生支援G
20	施設関係	教育学部C棟入口のカードリーダーの反応が悪い	平成27年度にICチップ対応可能なカードリーダーへ更新を行いました。	教育学研究科支援室
21	施設等	教育棟の教室にある、椅子がくっついていて机が本当に使いづらいので予算があるのならば変えていただきたいです	平成26年度及び平成27年度において、老朽化した机と椅子の一体型のを優先して予算の範囲内で更新を行いました。	教育学研究科支援室
22	単位認定	修得した単位をもっと見やすくして、卒業や資格取得のためにあとどれくらいの単位が必要なのかわかりやすく見ることができるようにしてほしい	教育学部では、平成27年度卒業対象学生から「もみじ」において、卒業に必要な単位数を確認できるように設定を行いました。	教育学研究科支援室
23	施設関係	車いすに適應したバリアフリー化を進めてほしい（理）	平成28年度に車いすの学生2名が入学したことに伴い、以下のとおり、対応又は検討中です。 ・理E102講義室（固定機の講義室）に車いす用の机を設置 ・学生自習室（理E003）にスロープを設置 ・車いすで使用可能なトイレへの改修を検討中	理学研究科支援室
24	情報環境	講義室など大学構内のWi-Fi環境を整備してほしい	【理学研究科支援室】 理学研究科棟において、以下のとおり、Wi-Fiの新規設置（設置台数増加を含む）又は機器更新により整備を行いました。 平成27年度 新規設置 理E002講義室 平成28年度 新規設置 理E208講義室, 理E209講義室, 理E210講義室, 理E211講義室 機器更新 理A004講義室, 理A017講義室 【霞地区学生支援グループ】 接続しにくい箇所を確認し増設しました。	
25	設備等	個人用の鍵付きロッカーを設置してほしい	【理学研究科支援室】 鍵の紛失等により、使用中止としていた学生自習室（理E003）内ロッカー（20台）を整備し、平成27年10月から使用を再開しました。 【霞地区学生支援グループ】 今年度から新1年生は霞周辺に居住することから、PC等を保管できるようにロッカーを使用できるようにしました。（※歯学部は調整中）	
26	治安	理学研究科棟出入口に、学生証で認証して入構するシステムを導入してほしい	理学研究科棟A棟、B棟、C棟及びE棟に入退室管理システムを設置し、平成28年5月から稼働を開始しました。	理学研究科支援室
27	教職関係	教員免許修得の説明会を開いてほしい	総合科学部では、例年4月初旬に2-3年次ガイダンスの一環として、教職課程ガイダンスを実施しています。	総合科学研究科支援室